

保育計画（新規事業計画）成果報告書

法人名等	社会福祉法人ひふみ会
施設名	ひふみ保育園
報告者（役職）	麻中 雅子（園長）
住所・連絡先	埼玉県川口市本町 3-9-21
	☎ 048-280-6123
	E-mail m.asanaka@1234.gr.jp

○タイトル（保育計画 or 新規事業計画）

心に響く保育行事を！～インクルーシブ保育の中で～

○主な助成備品

フロアバスケット、カラー玉、ミュージックパッド、ハウスサークル、巧技台はしご
ミュージックベル、折りたたみ式人形劇舞台

1. 保育計画（新規事業計画）策定の目的

健常者と障がい児が行事などを通して、同じ環境の中で触れ合うことができる時間に
「障がいのある子もない子も共に育ち、学んでいける保育」「同じ空間で同じように成長できる取り組み」など、ともに刺激を受けることのできる保育環境を作りたい。

2. 具体的な実施内容

行事：《夏祭り》

今年の夏祭りのテーマは「虫」。催し物を各コーナーに設け、その1つとして「ボール入れゲーム」を設置。【フロアバスケット】を虫取り網に見立て、興味を引き出して取り組めるようにした。年齢に合わせて距離を変えることでひかり園の子も共に意欲的に楽しんでゲームする姿が見られた。



《お誕生会》

全園児がホールに集まるお誕生会。保育者からのプレゼントとして【折りたたみ式人形劇舞台】を使い、人形劇を行った。大きな舞台に子ども達はワクワク！カーテンが開き、お話が始まると吸い込まれるように見入って楽しむ姿が見られた。また、お誕生さんは一緒に参加する場面もあり、張り切ってお手伝いをしていた。一緒に笑い合い、掛け声を発し、たくさんの笑顔が会場を包み込んだ。いつもとまた違う、特別なお誕生会となった。



《クリスマス会》

季節行事の中でも人気のクリスマス会。何が始まるのか…ドキドキ・ワクワクしながら全園児がホールに集結。クリスマスの手遊びからスタートし、保育者がサプライズでクリスマスにちなんだ曲を【ミュージックベル】で演奏した。初めて耳にする子ども達はきれいなベルの音色に心地良くなり、聴き入る様子が見られた。思わず歓声上がる場面もあり、とても楽しんでいた。また、ホール一体が幸せな雰囲気に包まれ、クリスマス会がより素敵な会となった。



《節分》

ボールを豆に見立て【フロアバスケット】に鬼のお面を貼り、「鬼は外！福は内！」とボールを投げ入れた。ひかり園の子は保育者に抱っこや支えながら楽な体制でフロアバスケットにボールを入れ、楽しみながらみんなで鬼退治をすることが出来た。楽しさもありつつ、「鬼を退治する！」という同じ目的に向かって参加する、刺激的な行事となった。



《お楽しみ会》

ひふみ保育園2歳児とひかり園の子ども達と一緒に楽しみ会として、ホールで遊ぶ機会を作った。子ども達に人気の【ミュージックパッド】【ハウスサークル】【巧技台はしご】を設置。

それぞれ遊びたいものを見つけながらも同じものや同じ空間で楽しんだり、笑い合ったりとする姿が見られた。一緒になって遊ばなくとも“同じものと同じ空間”を共有できることがとても刺激になり良かった。



3. その成果と評価

季節折々の行事に参加し人との関わりを通して、同じ環境の中で触れ合うことのできる時間に障がいがある子もない子と共に笑い合い、楽しさを共有し合うことで子どもの様々な感情や表情が豊かに育まれると、活動を行った結果、感じた。行事の一つ一つで見せる、子ども達の嬉しそうな表情がとても印象的だった。そのためには保育園と障害児支援事業所が同じ敷地内に隣接している、他にはない特別な環境を活かすことで、今後もより子どもの様々な感情や表情が豊かに育まれる効果が期待できると感じた。

幼少期からインクルーシブ保育に触れ、行事だけでなく、日頃の保育から関わり合える環境作りに配慮し、子ども同士、心も身体も成長し合える場を提供できることが重要だと気づかされた。

4. 今後の課題と展望

1年を通して、いろいろな行事に同じ環境の中、触れ合うことでともに刺激を受けることが出来たため、さらに行事や保育室の使い方を見直し、今後も健常者と障がい児が同じ空間で同じように楽しみ、笑い合い、子どもの様々な感情や表情などをより引き出せるような取り組みや成長できる行事を工夫して行っていきたい。そして、楽しい行事があることで期待感を持って、園に登園できるような環境作りの向上につとめていきたいと思う。

以上